

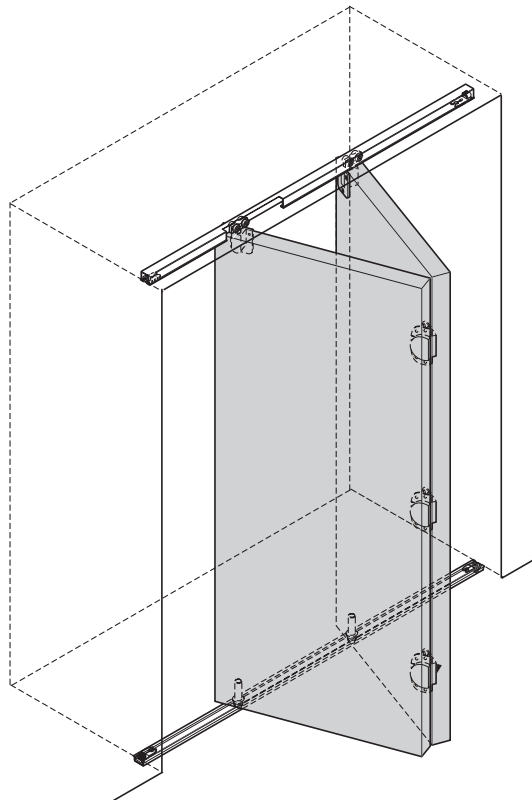
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

## 本製品について

- 吊元を固定しないため、扉を左右に移動でき、両端の物が出し入れしやすい収納用の折戸金物です。

## 仕様

扉幅	450 mm 以下
扉高さ	2400 mm 以下
扉厚	30 mm 以上
扉質量 (1 枚当り)	15 kg 以下
扉上下調整範囲	± 4 mm



## 正しく安全に施工していただくために

### 図記号の意味

 <b>警告</b> 注意	 <b>禁止</b>	 <b>厳守</b>
---	---	---

**警告** 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- ❗ 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉などが脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

**注意** 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。板の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は家具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ家具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。
- ❗ 扉に無理な力を加えないでください。故障の原因になります。

# 部品一覧

No.	①	②	③	④	⑤	⑥
品名	上ローラー	案内ランナー	打込工具	上ストッパー	下ストッパー	センターヒンジ (掘込用)
品番	FD30-WRU	FD30-FGR	FD30-FSJ	FD30-FTST 型	FD30-FBKS	FD30-CHH
部品						
付属品	十字穴付バインドタッピン ねじ3.5×20 …… 3本	—	—	—	—	十字穴付皿タッピン ねじ 3.5×16
2枚扉用	2ケ	2ケ	1ケ	2ケ	2ケ	3ケ
4枚扉用	4ケ	4ケ	1ケ	2ケ	2ケ	6ケ

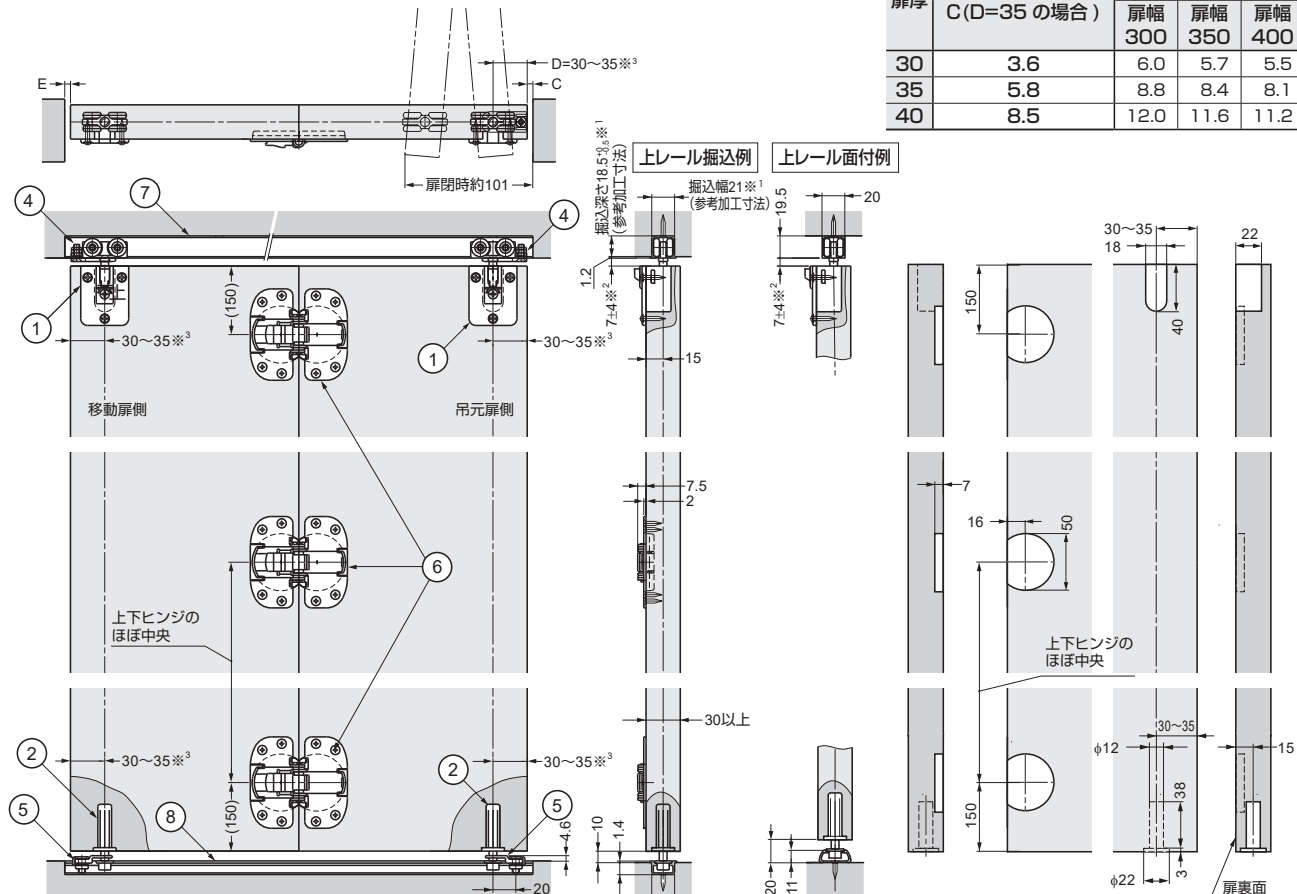
No.	⑦		⑧	
品名	上レール (面付用)	上レール (掘込用)	ガイドレール (面付用)	ガイドレール (掘込用)
品番	FD30-TRM 型	FD30-TRH 型	FD30-FBRM 型	FD30-FBRH 型
部品				
付属品	—		十字穴付皿木ねじ 3.5×16	
2枚扉用	面付用か掘込用を1本		面付用か掘込用を1本	
4枚扉用	面付用か掘込用を1本		面付用か掘込用を1本	

## 寸法図

■ 枠と扉の最小すき間寸法

扉厚	吊元側のすき間 C(D=35の場合)	左右のすき間 C+E (D=30、折戸1組の場合)			
		扉幅 300	扉幅 350	扉幅 400	扉幅 450
30	3.6	6.0	5.7	5.5	5.3
35	5.8	8.8	8.4	8.1	7.9
40	8.5	12.0	11.6	11.2	11.0

扉開口部寸法 (扉厚40 mm、扉幅450 mmの場合)



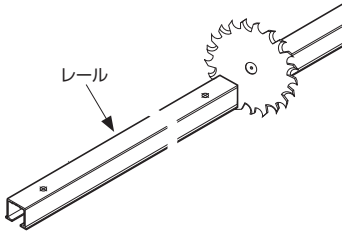
- ※<sup>1</sup> クロス等を巻き込む場合、別途寸法を加味してください。
- ※<sup>2</sup> 扉の高さは-4 mmから+4 mmの範囲で調整可能。
- ※<sup>3</sup> 上ローラーと下ピボットの軸の位置を合わせます。

# 取付手順

## 1 レールの切断

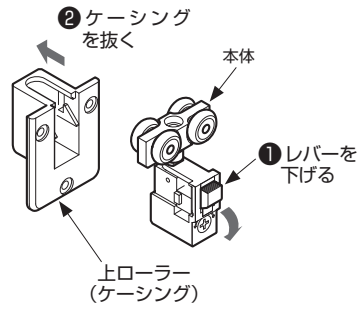
### △ 注意

レールが変形しないようにレールの中に補強材などを入れて切断してください。切りくずはきれいに取り除いてください。



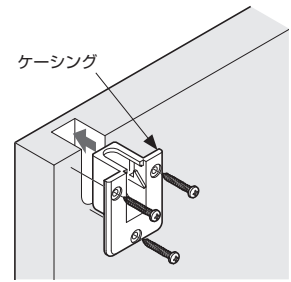
## 2 ケーシングの取外し

上ローラーを本体とケーシングに分ける。



## 3 ケーシングの取付け

付属ねじで確実に固定する。

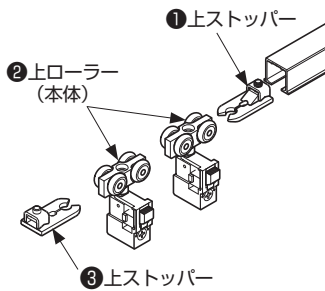


## 4 上レールへの部品の組み込み

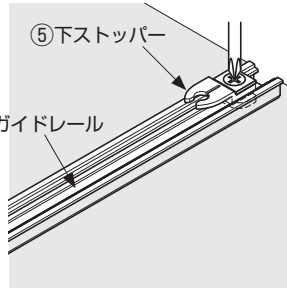
部品の向きに注意して、①～③の順番で組み込む。

### △ 注意

組み込んだ部品が落ちないように、上ストッパーを仮止めしてください。

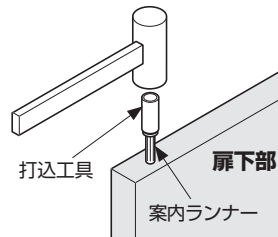


## 5 下ストッパーの取付け



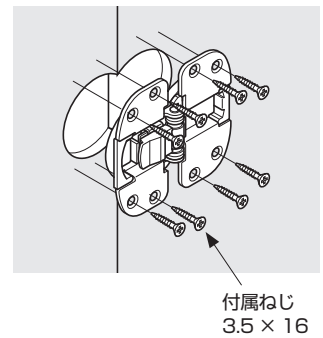
## 6 案内ランナーの打込み

打込工具を用いて、樹脂部分を割らないよう注意して打ち込む。



## 7 センターヒンジの取付け

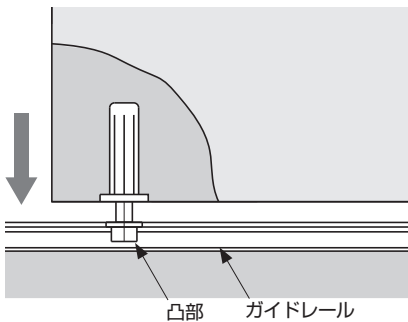
3つのヒンジの向きを合わせて、扉の掘込みに固定する。



## 8 扉の吊込み

### 【1】扉下側

ガイドレールの溝に案内ランナーの凸部を差し込む。

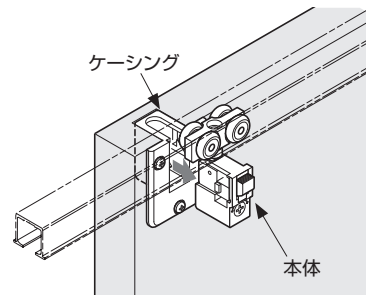


### 【2】扉上側

上ローラー本体を裏側のケーシングにクリック音がするまで差し込む。

### △ 注意

上ローラー本体が外れないか確認してください。

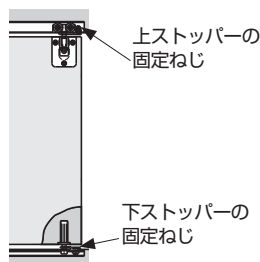


## 9 扉の動作確認、調整

扉をゆっくり動かし、扉の動きが悪かったり、扉の落ち込みや傾きがある場合は調整をおこなう。

### [1] 傾き調整

上ストッパーと下ストッパーの固定ねじをゆるめ、扉を垂直にしてから固定ねじを締め付け固定する。



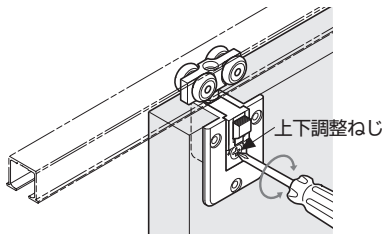
### [2] 上下の調整 (±4mm)

#### △ 注意

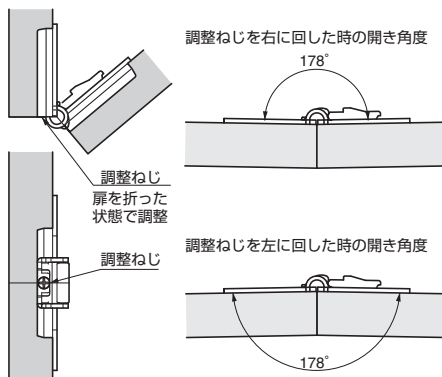
調整ねじは調整範囲以上に回さないでください。破損の原因になります。

#### △ 注意

調整ねじを電動ドライバーで回さないでください。破損の原因になります。



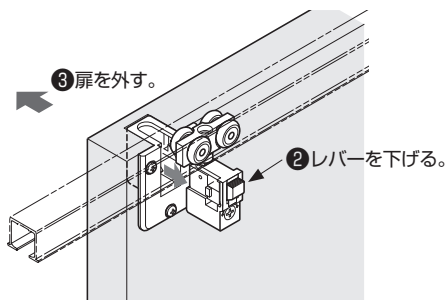
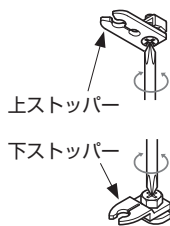
### [3] 角度調整 (±2°)



取付後の確認…ねじの締め忘れ、取り付け忘れのないことを確認してください。

## 補足 扉の外し方

- 1 上下のストッパーをゆるめる。



## 困った時の対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉の開閉時に異音が発生する	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものと摺らないように扉の調整をしてください。
	レール内にごみやアルミの切粉が付いていませんか。	ごみやアルミの切粉を取除いてください。
	レール部のローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	一旦レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
扉の開閉が重い	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
	床面に扉下面がこすっていませんか。	レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をして頂き、床面と扉下面との隙間が 10 mm になるように調整してください。 (面付用ガイドレールの場合は 20 mm)
扉が開閉しない	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものと摺らないように扉の調整をしてください。
	扉に反りが発生していませんか。	反りのない扉をご使用ください。
勝手に扉が開閉してしまう	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじにぶつかっていますので、ねじを締め直してください。
	レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して水平になるように、レールを付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、  
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※ 弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

**SUGATSUNE** スガツネ工業  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30  
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2023.06 0478-7j